



## はじめに

## Introduction

ニュースやテレビで「関税」という言葉を聞いたことはありませんか？ だれかに聞かれたとき、関税がなにか、なんのためにあるのか、答えられますか？

わたしたちの暮らしの中には、外国からやって来るものがたくさんあります。たとえば、バナナやチョコレート、洋服やくつ、ゲーム機など。電気をつくるときに必要な原油も外国から買ったものです。

外国からものがやって来るときに、「関税」というしくみが関わってきます。

1巻では、外国から船や飛行機で運ばれてくる荷物のゆくえを追いながら、「関税ってなに？」「だれが払うの？」という疑問に、イラストやグラフでわかりやすく答えていきます。

みなさんのまわりにあるものが、どこから来て、どうやって日本に届くのかを知ると、毎日がちょっとちがって見えてきます。

さあ、いっしょに「関税」の世界をのぞいてみましょう！



※この本の情報は2025年12月末現在のものです。

※関税率は品物・国・季節などでこまかく定められています。この本のイラストで説明している例は、わかりやすくするためのもので、実際の関税率と異なることがあります。



## もくじ

## Contents

 バナナはどこから来る？ ……5
外国から日本にやって来るもの ……8
どこの国からやって来る？ ……10
港に着いたら…… ……12
空港に着いたら…… ……14
関税って、なに？ ……16
関税はだれが、だれに払うの？ ……18
季節と品物によっても関税率は変わる！ ……20
わたしたちの暮らしと関税 ……22
なぜ「貿易」をするの？ ……24
日本はどんな国と貿易している？ ……26
日本の貿易のいま ……28
まとめ ……30
 関税の役割 ……31

Where do **bananas** come from?

マジカル地球儀〜！

このバナナはね、フィリピンで育ったんだよ。日本で食べるバナナは約99.9%が外国から来たもので、

そのうちフィリピンのものは約75%になるんだよ！

国	割合
フィリピン	75%
他の国	24.9%
日本	0.1%

※2024年

フィリピンはココ！！

えーっ！すごい！

どうやって日本まで運ばれるの？

わあ〜、バナナも世界旅行してるんだね。

よし！じゃあ学校が終わったら港に行ってみよう！

わーい！！

船で1週間ほどかけて日本へやって来るんだ♪

ホワッ！

へえ〜！



バナナはどこから来る？

放課後

ほら、バナナをのせた船が着いたよ！

港にはぼくの仲間、“関税のアバター”たちがいっぱいいるよ♪

へえ〜すごい！

バナナのほかにもたくさんのものが外国からやって来ているよ。

さあ、これから港に着いた貨物がどうなるか見てみよう。

しゅっ！

ゴー！

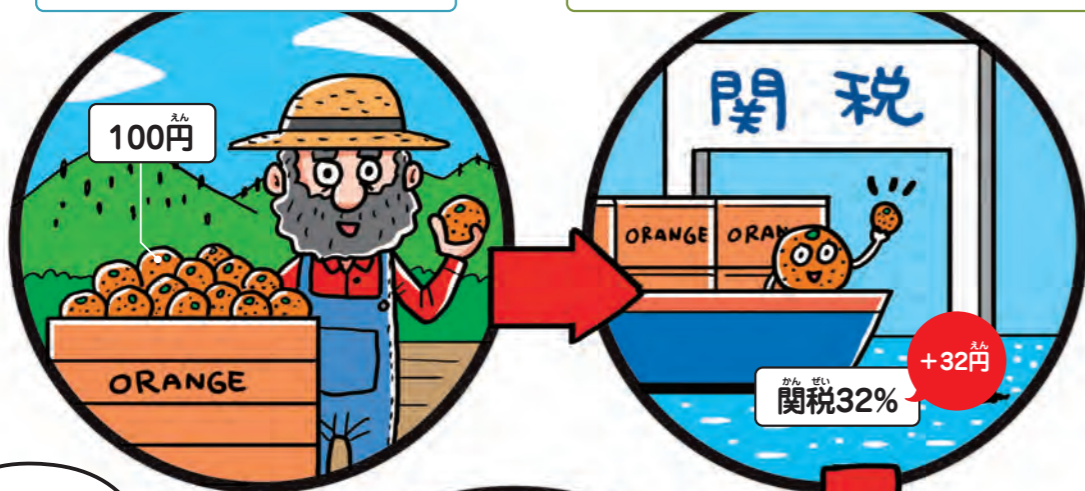
# 関税って、なに？

外国から日本に輸入される品物の値段にプラスしてかかる特別な税金のことを「関税」といいます。日本ではものやサービスを買うときに、品物の値段とは別に10%（食料品などは8%）の消費税を払いますが、それと似たしくみです。

\*イラストのオレンジの関税率はわかりやすく説明するためのもので、実際とは異なります。

外国で栽培されたオレンジ

輸入するとオレンジに関税がかかる



関税がかかると、値段が高くなるんだよ。



関税などが上乗せされた価格のオレンジがスーパーに並ぶ

※実際は関税分がそのまま価格に上乗せされるわけではなく、輸入にかかるコスト（人件費やものを運ぶお金など）の一部として計算されます。また、スーパーの人件費なども加わって価格が決定します。

## 外国からの輸入品の価格が高くなるしくみ

関税とは、外国から日本にものを輸入するときにかかる、特別な税金のことです。

たとえば、2025年11月までは、冬にオレンジを輸入するときの関税は32%で、1個100円のオレンジなら、32円の関税を支払わなければなりません。日本で売るときは、関税分もプラスされ、

外国から入ってくるオレンジの価格が上がります\*。その税率も、ある国は10%、ある国は0%、さらに夏と冬では異なる（20、21ページ）など、こまかく決められていました。

その他、チーズ、米、洋服、おもちゃなど、さまざまなものに、それぞれこまかく関税率が決められています。

日本から外国へ輸出するときは、相手の国（輸入国）で関税がかかります。

### COLUMN

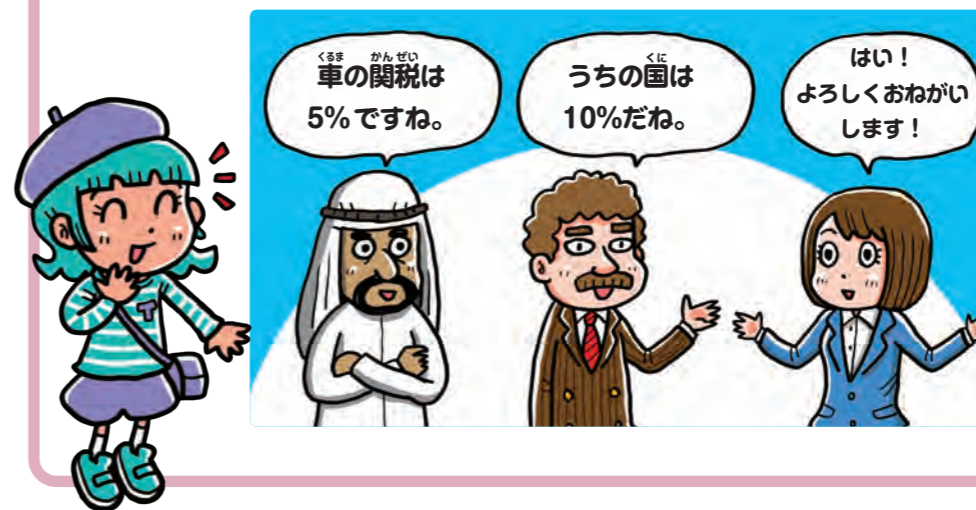
#### 各国への関税は話し合いで決まる

関税の金額は、どの国も同じというわけではありません。関税の多くは国どうしの話し合いによって決められているからです。

ある国には関税を低くして品物を行き来しやすくしたり、別の国には高めの関税にして国内の産業を守ったりします。

たとえば、日本がその国から輸入する牛肉やバナナの関税を安くする代わりに、その国に輸出する日本の車や電化製品などの関税を少なくしてもらおう、というように決めているのです。

このような話し合いによって、世界の国々はおたがいの貿易をスムーズにしながら、自分たちの産業も守っています。



関税は国どうしの話し合いによって決まります。同じ自動車輸出する場合でも、ある中東の国では5%、あるヨーロッパの国では10%ということもあります。